

年末年始の 防犯対策



何かと慌ただしくなる年末年始は、各種犯罪が多発する傾向にあります。

「自分だけは大丈夫」と油断せずに、日ごろから防犯対策に取り組みましょう。

☎生活安心課 ☎(632) 2137

個人・家庭で取り組む

年末年始は防犯対策をしっかりと

空き巣・忍び込み対策

家主が不在のときに住宅に侵入する「空き巣」や、家主が夜間に寝静まったときに住宅に侵入する「忍び込み」などの多くは、侵入に5分以上の時間が掛かると犯行を諦めると言われています。しっかりと施錠し、泥棒が家屋に侵入しにくい環境を作りましょう。

ひったくり対策

被害者の多くは女性です。次のような対策をし、被害に遭わないようにしましょう。



- ▼ バッグを車道側に持たない。
- ▼ 人通りの少ない場所をできるだけ通らない。
- ▼ 自転車のかごにひったくり防止ネットを付ける。
- ▼ 金融機関で現金を引き出した後は、周りに不審者がいないか注意する。

車上狙い・乗り物盗難対策

自動車などから離れるときは、短時間でも必ず鍵を掛けましょう。



特殊詐欺に注意してください

高齢者などを狙った特殊詐欺の手口が巧妙化しています。次のような、詐欺の決まり文句には注意してください。

- ▼ 電話番号が変わった。
- ▼ 必ず儲かる。

- ▼ 代理人がお金・キャッシュカードを取りに行く。
- ▼ ATMで払い戻す。
- ▼ 今日中にお金が必要だなど。

また、訴訟を告知するようなはがきや封書が届いたら、詐欺の可能性が高いので、必ず誰かに相談しましょう。相手が官公庁などを名乗ったら、電話帳などで確認してください。

地域みんなで取り組む

「まちを少し明るく」一戸一灯運動

12月11日～令和6年1月3日の約1カ月間実施します。玄関口の明かりを付けるなど、「住民みんなで防犯活動に取り組んでいる」ということを示し、犯罪のない街を作りましょう。

冬休み中の子どもの安全確保にご協力を

日ごろから地域ぐるみであいさつを交わし、犯罪の未然防止に努めましょう。また、落書きやゴミの散乱、放置自転車など環境の乱れた地域を犯罪者は狙います。こうした乱れを地域で改善しながら、犯罪者を排除しましょう。



不審な人がいたら、110番通報するなど、子どもたちの安全確保に努めてください。一人で遊んでいたたり、遅くまで遊んでいる子どもがいたりした時は、早く帰るよう促してください。

県警察からのお知らせ

空き家を対象とした窃盗被害が急増中！ 家族で話し合おう 自宅の防犯対策

県内で空き家を対象に、泥棒が侵入する窃盗被害が多く発生しています。空き家を所有している人は、防犯対策を行い、被害を防止しましょう。

また、家族や知り合いなどに空き家を所有している人がいたら、防犯対策をし、未然に被害を防止するように伝えましょう。

1 確実な施錠をする

侵入されないように、窓や玄関などの出入口箇所の鍵を確実に掛けましょう。

2 定期的な管理

郵便物がたまっていると、空き家であることを泥棒に知られ、狙われる恐れがあります。空き家の定期的な管理をしましょう。

3 空き家内に貴重品を置かない

泥棒は現金や貴重品を狙っているので、空き家に置かないようにしましょう。



4 侵入しにくい環境づくり

空き家でも簡単に侵入されないために、人感センサーライトや窓への補助錠の設置などをしましょう。

5 近隣住民などとの連携

近所の人に空き家であることを伝え、気に掛けて見てもらい、不審者などを発見した場合には110番通報してもらうなど連携して、被害を防止しましょう。詳しくは、最寄りの警察署にご相談ください。